

漫
録

五八

故中央大學學長岡野男爵追懷錄(三)

去る十二月二十二日故學長法學博士岡野敬次郎男爵の一週忌日に當り中央大學に於て同氏の追悼式舉行後追悼演說會ありたる
こゝは既報の如くなるが當日の演說速記を逐次茲に掲げて讀者と共に更に故人の學徳を偲ぶこゝとした匆卒の際演說者の訂正
を仰ぐに由なく魯魚の誤りなきを保し難い其責一に編者に在り(編者識)

○ 法學博士 美 濃 部 達 吉

岡野先生の追悼會に臨みまして申述べることは可なり多いのでありますが、最早時間も遅くなり
ましたから、極く短かく一言だけ申上げて追悼の意を表したいと思ひます、先生の御生涯は御承知
の如く頗る多方面に渡らせられて居るのであります、先生の本領は元より學者たることにおありに
なつたのであります、學者としてなされたことも他方面であつた、先生の御專攻は商法でありま
したけれども、併し先生の學問は決して商法のみ留まつて居つたのではなく、行政裁判所長官と
しては行政方面の造詣にも深かつた、殊に帝室制度の調査に關しまして憲法及び皇室法規に深い造
詣を有つて居られたのであります、而してその專攻が斯の如く他方面に渡らせられて居りますのみ
ならず、その學者としてなされました事業、これも頗る多方面である、申すまでもなく第一に年
僅に二十四才にして大學の助教授になられてから五十八歳まで在られた、ザット四十年、大正十

一年に司法大臣になられるまで絶えず大學に教鞭を取られた、大臣となられた後も教授ではなかつたけれども暫くは講義を繼續せられた、大臣にして同時に講義をせられて居つたのはたゞ岡野先生のみであります、またこの中央大學に於ては前には理事として、後には學長として長らくこれを繼續して居られました、これも學者として大なる一つの事業であつた事は申すまでもない、また立法者としては商法、民法を始めとして先生の筆に成つた法律、勅令は非常に多いのであります殊にまた帝室制度につきましては先生が多くこれに力を盡されたのであります、學者としての公生涯の他に先生はまた長く行政官であられ、後には政治家として二度までも臺閣に列せられたのであります、以上は公生涯であります、先生はまた同時に私生活に於きまして非常に實際の範圍が廣く、常に廣いのみならず、また深かつたといふことは皆様御承知の通りであります而してこの多方面の御生涯に於て先生ほど多くの人に尊敬せられ、また信賴せられて居つた方は實に比類を求めめることは難いであらうと思ひます、先生が後輩から尊敬せられ愛慕せられて居られましたことは松本君はじめ多くの方のいはれた通りであります、この單に後輩から愛撫せられて居つたのみならず先生は二十代、三十代の頃から先輩に信任されて居つたことは實に著しいのであります、先生は大學に關係して居られた事長いのでありますけれども、同時に多くの他の方面に關係して居られた爲に大學では學長といふやうな職務には就かれなかったのであります、併し歴代の學長殊に先生の關係中は穂積八束先生が學長でありましたが、この間は全く岡野さんを唯一の相談相手として萬事岡野さんに相談せられて居つたことは私共親しく目撃して居つたところ

であります、また學士院の會員となられて居りましたが、こゝに於ても、學士院長でありました穂積陳重先生が岡野先生を最も信頼して相談相手として居られたことはこれも私は親しく承知いたしました所であり、中央大學の理事といつても、當時の學長であつた奥田先生が岡野さんを御信用せられて居つたことはこれまた皆様御承知の通りでございます。斯の如く學校方面に於て先輩の信任を得られて居りますと同様にまた政治方面に於きましても法制局長官でありました時代に、例へば山本權兵衛伯爵、西園寺公爵或は先生が始めて官吏になられたのは主として伊東已代治伯爵の推薦によつたものであるといふことでありますが、伊東さんが岡野さんを信頼されて居つたこと、また最後に加藤友三郎内閣時代に先生は司法大臣でありましたが、加藤首相が岡野さんを信頼されて居つたことは類がないといふ事を聞いて居りますが、これは私の親しく目撃したことではありませんが、さういふ事を承つて居ります、斯の如く單に後輩から愛慕せられたのみならず、先輩から深い信頼を受けられて居りますのは一に先生が、その人格に於て誠心誠意を以て當られた結果であるに他ならないと思ふのであります、これは實に後世に傳へて以て萬人の龜鑑となすべき事柄ではあるまいか、私共先生の頭腦明晰、學殖の深かつたことに敬服することは勿論であります、就中人格即ち人として最も尊ぶべき性格をお有ちになつたといふことを切に感ずるのであります、私共幸に先生と同じ時代に生れまして、先生の知遇を得ました事は私共の一生に取りまして甚だ感謝すべき事と存じて居る次第であります、たゞ一言だけ述べて追懷の辭といたします。(拍手)